

一切の無駄を省き、綿密に練られた



合格カリキュラム

TACのカリキュラムは合格を第一に考え、順序立てて実力がつけられるようにインプット（知識補充）とアウトプット（問題演習）のバランスが取れた編成を組んでいます。また、適切な時期に厳選した試験情報を提供していきますので、学習に集中することができます。

3級	基本講義	3級試験に効率よく合格できるよう重要論点に的を絞った講義なので、短期間で知識を身につけることができます。
	実技対策講義	実技試験合格に不可欠な計算問題を中心に、実際に手を動かしながら解法テクニックを体得します。
2級	FP概論講義	まずはFPの学習範囲の全体像をつかみます。各科目の学習法についても解説しますので、これからの学習指針を立てるにあたって大いに参考になります。
	基本講義	最新の法改正等を反映したオリジナル教材を使用しますので、2級試験合格に必要な知識を習得できます。提案書作成で求められる知識も得ることができます。
	提案書作成講義	AFP取得に必要な提案書の作成方法を学習します。例題を用いながら解説・指導しますので、提案書をスムーズに作成できるようになります。
	試験対策講義	知識を総整理するとともに、本試験で実践できる解法テクニックを習得し、得点力を確実なものにします。
	Web 模試	過去の本試験の出題傾向を徹底分析し、TACオリジナルの予想問題を用いて、本試験と同じWeb形式で実施します。解答方法の練習や時間配分の確認、本試験日までの学習計画の調整に最適です。
1級	入門講義	1級で必要となる基礎知識を習得することを目的とし、2級レベルの知識を短時間で手際よく再確認します。
	基本講義	膨大な学習範囲から必要な知識をピックアップするとともに、短期合格するためのノウハウを余すところなくお伝えします。
	総まとめ講義	基礎編では、正誤問題を通して知識の正確性を高めます。応用編では、空欄補充問題は問われやすい用語を、計算問題は計算手順をそれぞれ再確認します。
	模擬試験	過去の本試験の出題傾向を徹底分析し、TACオリジナルの予想問題をご提供します。満点を取るまで繰り返し復習し、本試験に臨みましょう。



選べる学習メディア & フォロー制度

TACなら、多様な学習スタイル・ライフスタイルに合わせて、学習メディアを選ぶことができます。また学習内容に関する疑問点は質問メールなどで講師が回答しますので、効率的に学習を進めることができます。



忙しくても大丈夫！

教室講座・ビデオブース講座・DVD通信講座にはWebフォロー標準装備、オンラインライブ通信講座にはアーカイブフォロー付き。好きなタイミングで効率的に学習を進めることができます。



疑問・不安をすぐ解消できる！

どの学習メディアにも質問メール制度が付いていますので、疑問点はそのままにせず、講師に質問・解決しましょう。



プロ講師の指導を受けられる！

教室講座のライブ講義で直接、通信講座で好きなときに好きな場所から、オンラインライブ通信講座で自宅からリアルタイムに…プロ講師陣の講義が受講できます。わかりやすい講義で効率的に合格を目指しましょう！



一人だけど、独りじゃない



講師やクラスメイトとのコミュニケーションで理解が深まる！

- ✓ リアクションや質問をリアルタイムに送れる
- ✓ 講師とコミュニケーションを取りながら、学習を深めることができる



いつでも、どこでも学びがつながる



出席する場所は選ばない！
録画でも“教室”のような臨場感

- ✓ 通信講座でも「孤独感」を解消できる
- ✓ 講義日程に沿って学習が進むので、学習ペースがつかみやすい



一人ひとりの学びを可視化



講義中の質問は出席者全員で共有・解決！

- ✓ 他の受講生が質問した内容が見える
- ✓ 講義中の質問は受講生に共有されるので、効率的につまづきポイントが解消できる

資格の概要

FP資格には、 日本FP協会が認定する民間資格「CFP®／AFP」と 国家資格の「FP技能士1～3級」があります。

FP資格には、NPO法人 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会（以下、日本FP協会）が認定する民間資格AFP・CFP®と国家資格のFP技能士（1～3級）があり、両資格は相互に関連しています。

AFPは、2級FP技能検定の合格とAFP認定研修の修了といった要件を満たし、日本FP協会へ登録することで取得できる資格です。2年ごとの資格更新に所定の継続教育が義務付けられており、常に知識とスキルの向上を行っている証となります。AFP認定者は、基本的なインタビュー技術、提案書の作成技術、プラン実行援助のためのさまざまな知識を有しており、日本全体で約15.6万人（2025年4月現在）が活躍しています。上級資格のCFP®は、世界25カ国・地域（2025年2月現在）で認められた世界水準のプロフェッショナルであることを証明する資格です。日本では約2.7万人（2025年4月現在）がCFP®として活躍しています。CFP®合格者および認定者は、1級FP技能検定の学科試験が免除されます。

FP技能士は、1級から3級までレベルに応じて受験が可能です。3級は入門的な位置付けのため、仕事や暮らしにFPの知識を活かしたいという場合には、より実践的で役に立つ2級以上が目標となります。

なお、試験実施団体として日本FP協会と一般社団法人金融財政事情研究会があります。一部の科目の問題や形式は異なりますが、いずれの団体に合格されても同一の資格（FP3級・2級・1級）を取得できます。

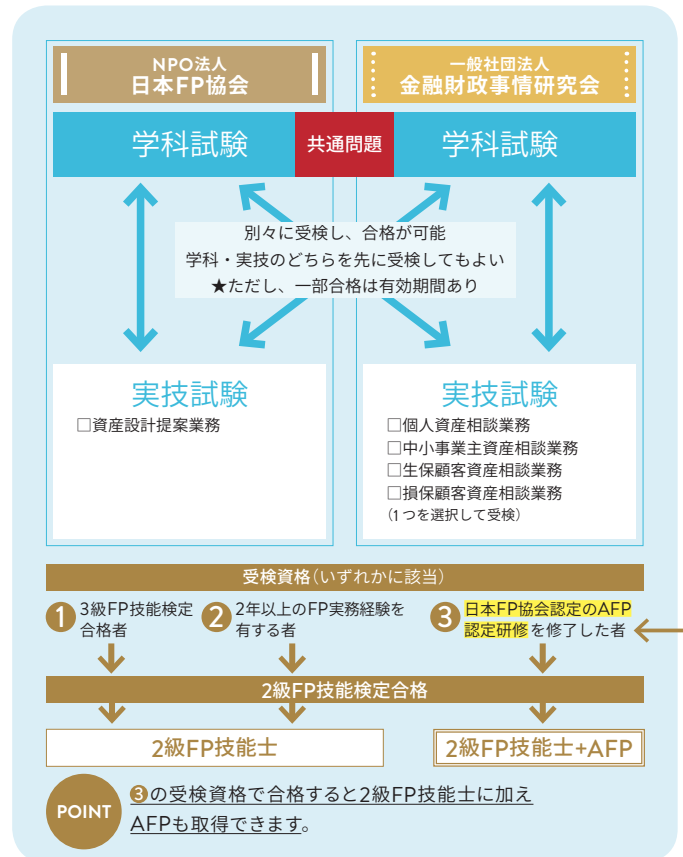
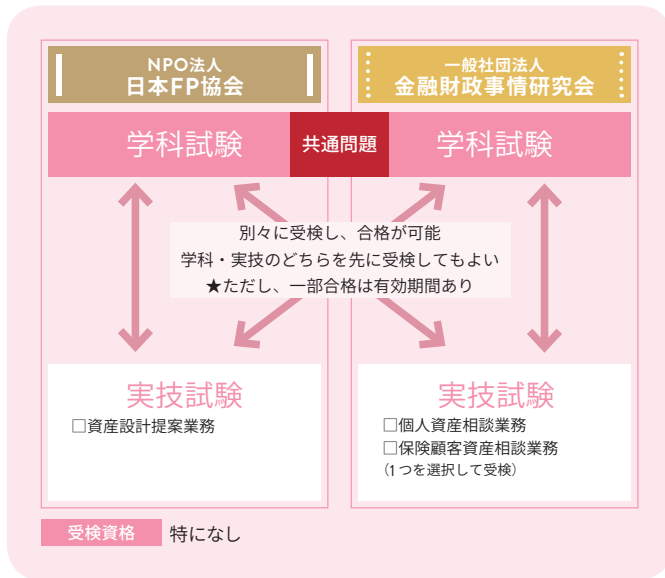
3級受験から START

国家
資格

3級

2級

[兼AFP資格審査試験]



- ★一部合格の有効期間について（FP3・2級）
合格した科目の試験実施日の翌々年度末までの間、申請により免除されます。
- ☆一部合格の有効期間について（FP1級）
①FP1級学科試験合格者は、学科試験に合格した試験日の翌々年度末までの間、申請により免除されます。
②CFP®合格者は、CFP®試験の合格日の翌々年度末までの間、申請により免除されます。

試験の概要・合格率

1級 技能検定

受験資格

- 次のいずれかに該当
〔学科試験〕
- 2級FP技能検定合格者で1年以上のFP実務経験を有する者
 - 5年以上のFP実務経験を有する者〔実技試験〕
 - 1級学科合格者
 - 日本FP協会CFP®認定者および合格者

試験実施団体 / 試験月	●学科試験：金融財政事情研究会：1月・5月・9月 *日本FP協会は学科試験は実施していません。 ●実技試験：金融財政事情研究会：2月・6月・9月（または10月） 日本FP協会：9月	
合格発表	試験日の約1.5～2ヵ月後	
学科試験	試験科目	ライフプランニングと資金計画 / リスク管理 / 金融資産運用 / タックスプランニング / 不動産 / 相続・事業承継
	出題形式	●基礎編 筆記試験（マークシート） 四択択一式 50問 / 150分 ●応用編 筆記試験（記述式） 事例形式 5題 / 150分 ※「空欄補充」など
	合格基準	200点満点で120点以上
	受験料	8,900円
実技試験	試験科目	次の科目から1つを選択して受験 日本FP協会：資産設計提案業務 金融財政事情研究会：資産相談業務
	出題形式	筆記試験（マークシート） 日本FP協会：筆記試験（記述式） 2題（20問） / 120分 ※「択一」「語群選択」「空欄記入」「論述」など 金融財政事情研究会：口頭試問形式 2回 / 各回約30分
	合格基準	日本FP協会：100点満点で60点以上 金融財政事情研究会：200点満点で120点以上
	受験料	日本FP協会：20,000円 金融財政事情研究会：28,000円

詳細な知識が問われる
高難度の試験です。

合格率	金融財政事情研究会	2024年5月	2024年9月	2025年1月
	学科	16.95%	15.95%	16.81%
	実技（資産相談業務）	2024年6月	2024年9月	2025年2月
		82.67%	88.21%	83.25%
日本FP協会	2022年9月	2023年9月	2024年9月	
	実技（資産設計提案業務）	99.0%	96.2%	82.4%

学科試験合格の秘訣

学習時間の目安

講義時間を除いて

150～200

時間程度

- 学科試験は、合格率が低く難関試験になります。試験内容は基礎編と応用編に分かれており、試験時間も長いのが特徴です。
- 午前中の基礎編は、2級レベルの基礎知識をしっかりと身につけていれば解ける問題もあるため、まずは基礎固めをしっかりと行ってください。特に2級試験を合格点ギリギリで合格された方は、基礎がおろそかになりがちですので、早めに基礎論点の復習をしておくといでしょう。
- 午後に行われる応用編は、事例形式になりますが、計算問題や用語の記述問題が中心となります。基礎編と違って、択一試験ではないため、初めて受検される方は早めに試験形式に慣れることが重要です。まずは、基礎学習の途中であっても応用編の過去問を解いて1級試験の難易度を把握してください。文章記述や用語記述は、各法律や制度の用語にいたるまで正確に覚える必要があり、学習時間も膨大になりますが、計算問題はパターン化しているので取りこぼしのないようにしましょう。
- 四択択一の基礎編では確実に60%前後の正答を目指し、応用編の学習時間を多くとることが合格の秘訣です。

※試験および登録の概要は2025年4月現在のものです。
 ※最新情報・受検(受験)の申込みに関する手続きは、必ずご自身で最新の試験情報を日本FP協会・金融財政事情研究会ホームページにてご確認ください。

CFP® 資格審査試験

受験資格

次のいずれかに該当

- AFP登録者
- 協会が認めた大学院で、所定の単位を取得した者

[CFP®の登録について]

CFP®に登録するには、「CFP®資格審査試験6課目に合格」「CFP®エントリー研修を受講・修了」「試験合格前10年からCFP®認定を受ける日までの間に通算で3年以上の実務経験」が必要となります。詳細は日本FP協会のホームページを参照ください。

※CFP®登録には所定の費用が必要です。

- 新規登録料 5,000円(初年度のみ)
- CFP®会費 8,000円
- 年会費 12,000円

※上記費用のほかに、所定の継続教育(2年間で30単位以上)を受けることが義務付けられています。

試験実施団体	日本FP協会
試験月	6月・11月
合格発表	試験日の約1ヵ月後
試験科目	次の科目から1つ以上を選択して受験 金融資産運用設計/不動産運用設計/ライフプランニング・リタイアメントプランニング/ リスクと保険/タックスプランニング/相続・事業承継設計
出題形式	筆記試験(マークシート)四肢択一式 1課目 50問/120分
合格基準	相対評価。毎回異なります
受験料	1課目 6,600円(2課目以上の場合、1課目ごとに3,300円加算)

自分のペースで 課目受験ができます。

〈2024年第1回〉

	金融	不動産	ライフ	リスク	タックス	相続	6課目一括
受験者数	3,264名	2,479名	2,625名	3,332名	2,805名	2,906名	181名
合格者数	962名	904名	813名	1,188名	1,014名	1,100名	20名
合格率	29.5%	36.5%	31.0%	35.7%	36.1%	37.9%	11.0%
合格ライン	23問	31問	26問	28問	28問	27問	—

〈2024年第2回〉

	金融	不動産	ライフ	リスク	タックス	相続	6課目一括
受験者数	2,919名	2,382名	2,568名	3,078名	2,577名	2,531名	138名
合格者数	930名	845名	889名	1,076名	940名	943名	11名
合格率	31.9%	35.5%	34.6%	35.0%	36.5%	37.3%	8.0%
合格ライン	24問	32問	26問	26問	30問	27問	—

※相対評価のため、合格ラインは毎回変動します。

合格の秘訣

学習時間の目安

講義時間を除いて

40~50 / 1課目
時間程度

- CFP®資格審査試験では、課目合格制が導入されているため6課目一括合格者は約10%前後の試験となります。各課目2時間、2週に渡って試験が行われます。1課目の出題数50問、合格ラインは60%前後で推移しています。
- 問題の構成割合は2級レベルが30%、CFP®の基礎レベル20%、CFP®の応用レベル50%。2級と基礎レベルは落とせない問題レベルです。まずは、基礎固めをしっかりと行う必要があります。2級合格後、時間が経過している方は、基礎論点の復習をしておくことをおすすめします。
- 応用レベルはCFP®試験特有の論点です。このレベルをいかに正解できるかが合格への鍵となります。それぞれの課目ごとに問題の特徴がある試験です。計算問題が多くなりますので、基本的な計算方法をしっかりと身につけ、多くの事例問題を解くことが合格の秘訣です。